

児湯地域の普及活動(普及活動月報)

令和7年8月 児湯農林振興局

(児湯農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P 2)
 - 1) 山路地域の活性化協議会役員会が開催【西都市】
 - 2) 新燃岳の火山灰の作物付着状況調査【高鍋町】
 - 3) 第66回宮崎県畜産共進会「肉用種種牛の部」児湯郡代表決まる!

- II 主な普及指導活動等の取組 (P 3~4)
 - 1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動 (P 3~4)
 - 1) リカレント研修のオンライン会場を設置【全域】
 - 2) 第1回就農計画作成研修会を開催【全域】
 - 3) 加工用青ゆず出荷開始【西米良村】
 - 4) さといもの生産振興に向けた生産者や各関係機関との協議【尾鈴】
 - 5) 加工用ハウレンソウ栽培講習会の開催【西都】
 - 6) かんしょ(展示ほ)【新富町】
 - 7) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【西都市】
 - 8) ブドウの着色向上を目的とした展示ほ試験における果実分析【都農町、川南町】

 - 2 その他の普及活動 (P 5)
 - 1) 西都地域農業経営体支援センターの農業経営コンサルティングが開催【西都市】
 - 2) 茶(展示ほ)【川南町】
 - 3) 8月出荷ホオズキの出荷準備最盛【木城町】

- III 参考 (P 5)
 - 8月の気象(宮崎气象台:西都市)

I 管内農業・農村の主な動き

1) 山路地域の活性化協議会役員会が開催【西都市】

7日に上山路公民館で、山路地域の活性化協議会役員会が開催されました。関係機関から、他地域で行われている農地整備事業や換地等の概要を説明した後、山路地域で今後どのように整備を進めていけばよいか、話し合いを行いました。集落での協議や意向等をふまえ、今後も協議を行っていく予定です。



【協議の様子】

2) 新燃岳の火山灰の作物付着状況調査【高鍋町】

12日に高鍋町内の農家からの要請で、新燃岳の噴火による火山灰の飼料作物付着状況の調査を行いました。飼料用トウモロコシと飼料イネを調査したところ、飼料用トウモロコシで生体重量の0.2%、飼料イネでは0.1%と低い値を示しており、今回の噴火の影響は少ないのではないかと思います。



【火山灰の付着したトウモロコシ】

【濾過で回収された火山灰】

3) 第66回宮崎県畜産共進会「肉用種牛の部」児湯郡代表決まる!

4日に児湯地域家畜市場で第66回宮崎県畜産共進会「肉用種牛の部」児湯郡代表牛決定審査会が実施され、9頭の牛（新富町4頭、川南町2頭、都農町3頭）が代表に決定しました。

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動

1) リカレント研修のオンライン会場を設置【全域】

4日、19日、22日、25日、26日、27日、28日に農業総合研修センターで実施しているリカレント研修のオンライン会場を設置し、毎回約4名の研修生や農業者が普及センターで受講しました。8月で全12回にわたったリカレント研修は終了となりました。オンライン環境は良好で本会場と遜色なく、受講者の研修満足度は高いものとなりました。

2) 第1回就農計画作成研修会を開催【全域】

6日に、第1回就農計画作成研修会を開催しました。本研修会は、来年度児湯管内にて耕種部門(施設野菜など)で就農を予定している研修生などを対象に3回シリーズで実施しており、今回は就農予定者14名、関係機関12名が参加しました。今回の研修では、普及センター職員より、就農するための準備や心構え、各種支援制度、就農計画の作成手順やスケジュールの説明を行いました。また、先輩農業者の講話として、令和5年度に西都市において施設ピーマンで就農した大西慎太郎さんより、就農のための準備や必要な資金などについて、具体的に話していただきました。受講者はメモをとったり、質問をするなど、熱心に話を聞いていました。

今後、10月15日、11月19日に、就農計画の作成方法について、より具体的な研修を行います。就農予定者自身で計画作成ができるよう、研修後も個別支援なども行っていく予定です。



【先輩農業者の講話】

3) 加工用青ゆず出荷開始【西米良村】

25日から加工用青ゆずの出荷が始まりました。今年も昨年並の出荷量が期待されています。

また、出荷に先立ち19日には加工出荷前講習会が開催され、加工用青ゆずの目揃えがされました。

西米良のゆずは他産地のものより香りが良いと評判で、これから青果や加工品の出荷・販売が楽しみです。



【青ゆず加工出荷前講習会】

4) さといもの生産振興に向けた生産者や各関係機関との協議【尾鈴】

12日、管内のさといも生産者、農協、加工実需者それぞれとさといも生産振興に関する意見交換会を行いました。

県内のさといも生産状況や県、普及センターの取り組みを説明した後、さといも生産の推進について、作期の延長や機械化体制の構築、新品種の導入など多岐にわたる意見を聞くことができました。

今後、試験場が選抜した「大和39」の実証試験において、収量性や水晶芋の発生状況の確認、さといも分離機の分離精度などを確認し、さといも生産の課題解決と振興に取り組んでいきます。

5) 加工用ハウレンソウ栽培講習会の開催【西都】

29日、西都地区本部生活センターで標記研修会が開催されました。ハウレンソウ生産者やJA等の関係者を合わせて約20名の参加者数となりました。JAからは栽培管理や病虫害防除について説明がありました。

普及センターからは明きよや耕盤破碎、緑肥を用いた排水対策について説明を行いました。引き続き加工用ハウレンソウの安定生産に向けて支援に取り組んでまいります。



【講習会の様子】

6) かんしょ(展示ほ)【新富町】

15日、28日に新富町の2つのかんしょ展示ほで、サツマイモ基腐病発生調査を行いました。今後2週間毎に区毎350株の発生調査を10月頃まで行う予定です。

7) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【西都市】

26日に児湯農業改良普及センター研修室で、肉用牛繁殖部門基礎学修会を開始しました。参加者は7名でした。講師にNOSAIの本田先生をお招きし、「子牛の病気と処置」と題して、下痢、呼吸器病、外傷、難産の4つ内容を実際の体験を交えて説明いただきました。



【研修会の様子】

8) ブドウの着色向上を目的とした展示ほ試験における果実分析【都農町、川南町】

14日にブドウの着色向上が期待されるアブシジン酸液剤を散布した展示ほにおいて、果実分析調査を行いました。調査はJAみやざき尾鈴地区本部、都農町、川南町の各果樹担当と行き、総合農業試験場からも果樹部の担当と果樹専技の支援をいただきました。

果実調査は、着色歩合をはじめ、果実重量や粒数、病虫害の発生状況など広く分析を行い、アブシジン酸液剤の着色効果、有効な倍数の検討を行いました。

今後は、今回の結果を尾鈴地域のブドウ生産者に共有し、産地の発展に繋げていきます。



【果実調査の様子】

2 その他の普及活動

1) 西都地域農業経営体支援センターの農業経営コンサルティングが開催【西都市】

18日、25日、26日に西都地域で今年度6件予定している地域コンサルのうち3件が行われました。コンサルの区分として、前向きな内容の「経営向上」と経営改善に向けた「経営支援」の主に二つありますが、どちらも予備調査書を元に本人からの聞き取りを行い、関係機関から助言等を行っています。コンサルを機に、更なる発展と改善が見られることが望まれます。

2) 茶(展示ほ)【川南町】

7日に川南町の茶展示ほで、炭疽病の防除効果確認試験を行いました。展示区の薬剤の方が対照区よりも高い防除効果となりましたが、両薬剤とも現地で使用できる防除効果でした。



【調査様子】

3) 8月出荷ホオズキの出荷準備最盛【木城町】

6日、木城町のホオズキ生産ほ場で、ホオズキの出荷準備状況を調査しました。

今年も高温の影響で一部で実の老化が見られたものの、特に大きな障害はなく、盆前の出荷ができました。

今後は、次作に向けた苗づくりが始まるので、しっかりと支援を行っていききたいと思います。



【出荷調整の様子】

III 参考

8月の気象(宮崎气象台:西都市)

	平均気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	28.4	29.6	27.6	67.5	0.0	114.7	69.5	109.4	67.5
中旬	28.1	29.1	27.6	5.0	49.0	75.0	90.2	93.1	63.7
下旬	28.1	28.1	27.0	12.0	338.5	74.5	82.9	75.2	69.9
月	28.2	28.9	27.4	84.5	387.5	272.8	242.6	277.7	199.3

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい! 伝えたい! 相談したい!」にお応えします!



宮崎県 農林水産業ナビ
ひなたMAFiN
Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

農林水産業に関する

- 多様な情報をホームページでわかりやすく提供!
- タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信!
- 皆さまの思いや意見を集約!



ひなたMAFiN

検索

メルマガ登録はこちら